

推敲とは

**文章例 A**

スノーボードの魅力は、雪の上を滑ることにある。雪山は寒いから嫌だ、という人もいるだろう。しかし、楽しいことをしていると寒さを忘れることができるはずである。スノーボードが正にそれだと実感して欲しい。雪山に行くのには時間がかかる。朝、早起きをしなければならない。渋滞に巻き込まれる。確かに嫌なことも多い。しかし、滑り出すとそんなことは忘れてしまうのである。それほどスノーボードは楽しいものである。雪山に着くと、まず着替えである。ボードを持ちゲレンデに行く。ゲレンデに出ると、辺りは真っ白い雪に包まれ、太陽の光で光っている。この風景が何ともいえずきれいである。スノーボード、他、スポーツは何でもであるが、一人では楽しくないはずである。やはり仲間が大切である。仲間と楽しく話しながらリフトで山を登り、そして楽しく山を滑って降りてくる。単調な繰り返しだなどという人もいるかもしれない。しかしこれが飽きない。こういった気持ちが持てれば、スノーボードの良さをわかってもらえるだろう。スノーボードで一番楽しいと思えるときは、仲間との交流である。うまい人に教えてもらい、それを実行する。遊び感覚でこういったことは少ないはずだ。一つのことについてみんなが真剣に話を聞き実行しようとする。当たり前といえば当たり前かもしれない。しかし、この当たりの出来事が、今身近に感じられるのはスノーボードだけなのである。こういった出来事が身近に感じられない人には、是非スノーボードをお勧めしたい。滑る楽しさ・仲間との時間、二つの楽しさを体験できるはずである。

**解答例 B**

スノーボードは、1枚の板で雪の上を滑るスポーツである。スキーと似てはいるが、別のものである。まず板が違う。スキーが2枚であるのに対して、スノーボードは1枚である。また、板の大きさも異なる。スノーボードは、約1.5メートルくらいある。幅も広い。アイスクリームについている木のスプーンのような形状で、その上に足を固定する金具がついている。値段は2万円くらいから、高いもので数十万円するものもある。滑り方もス

キーとは違っている。体重移動で滑るところは同じであるが、その移動の仕方は全く異なる。しかも同じ一枚の板に両足を置くので、スキーより難しい。

スキーでは味わえないスノーボードの醍醐味がある。それはジャンプである。ジャンプ台でジャンプをして空中で技を繰り出す。その空中での技にも色々ある。板を持つ技や、体をひねる技、回転する技などである。また、自分で技を作ることもできる。多分、スノーボードをやっている人の半分以上が、ジャンプの醍醐味を味わうためにやっているのではないだろうか。次々と新しいジャンプの技を工夫し、そのための練習を重ねるので、スノーボードには飽きることがない。

### 解答例 C

スノーボードは、ウインタースポーツの一つである。一枚のボードに両足を固定し、サーフィンに似た横乗りスタイルで雪上を滑走する。使用者の身長から 10 センチ程度短いものが、スノーボードの適正な長さであると言われている。

スノーボードは 1960 年代にアメリカで生まれた。日本国内において、スノーボードが行われるようになったのは 1970 年代後半であった。当時は競技人口も少なく、その存在を知る人も稀であった。スノーボードの滑走を全面的に禁止するスキー場がほとんどであった。しかし、近年スノーボードの競技人口は飛躍的に伸びている。1990 年には 7 万人であった競技人口は、2004 年には 393 万人に増加している（笹川スポーツ財団「スポーツ白書」による）。1998 年の長野オリンピックから正式種目として採用されたことが、日本でスノーボードが普及した大きな理由であると考えられる。

1982 年には、日本スノーボード協会が設立された。HP ([www.jsba.or.jp](http://www.jsba.or.jp))には、「我が国におけるスノーボード界を代表し、国内外でのスノーボードの健全なる発展と普及に努めると共に、国民の心身の健全なる発達に寄与することを目的とする」と記されている。

「好きなもの」模範解答例（「推敲」を実体験する）

A ①私の好物であるイチゴについて説明する。

B ②イチゴは、1942 年以降に南北アメリカ大陸からヨーロッパにもたらされた。③1942 年とはコロンブスがアメリカ大陸を発見した年である。④18 世紀のオランダで北米東部原産の「フラガリア・バージニア」と、南米原産の「フラガリア・チロエンヌ」が交雑された。⑤この雑種が品種改良され、現在のいちごとなった。

C ⑥日本にイチゴが伝わったのは、江戸時代の末期である。⑦南蛮船によってもたらされたため、いちごの別名は「オランダイチゴ」という。⑧しかし、栽培が始まったのは明治五年以降になる。

D ⑨1960 年以前、イチゴは収穫期の 5 月から 6 月しか食べられなかった。⑩しかし、栽培技術の進歩や品種改良により、現在は 1 年中食べられる。⑪出荷量が一番多いのは、12 月から 1 月である。

E ⑫イチゴ 100 グラム中に、ビタミン C は 80 ミリグラム含まれている。⑬これはレモンの 2 倍である。⑭よって一日に必要なビタミン C は、イチゴ 5 粒で摂取できる。⑮イチゴは生で食べられるので調理によってビタミンが減ることもない。

F ⑯イチゴにはキシリトールも含まれている。⑰キシリトールは虫歯予防に効果がある。⑱理由は 2 つある。⑲1 つ目は、キシリトールは甘味料の一種だが、砂糖と違い虫歯の原因の酸を作らないこと。⑳2 つ目は、虫歯の原因菌の活動を弱め歯垢活動を抑える効果があるということだ。

G ㉑イチゴを 5 粒食べるだけで、一日のビタミン C を補え、しかも虫歯予防になるというのは私がいちごを勧める一番の利点である。

---

以上の解答例を読み、別紙の課題に解答しなさい。